

業 務 状 況 の 公 表

鹿屋市告示第236号

地方公営企業法第40条の2第1項及び鹿屋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例第8条の規定に基づき、令和2年3月31日現在の鹿屋市水道事業の業務状況を次のとおり公表する。

令和2年6月1日

鹿屋市長 中西 茂

目 次

1	事業の概要	1
2	業務量	1
3	経理の状況	2
4	企業債の状況	2
5	令和元年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況	3
6	令和2年度鹿屋市水道事業当初予算の概要	5

令和元年度 鹿屋市水道事業下半期業務状況説明書

1 事業の概要

本年度は、鹿屋市水道ビジョン（経営戦略）の初年度であり、ビジョンの基本目標である「持続・安全・強靱」に基づく事業を計画的に推進するため、漏水の原因となる老朽管の更新、道路改良等に伴う配水管整備及び基幹管路等の耐震化を実施し、災害に強い管路の構築に努めた。

また、電気探査や漏水調査の強化による有収率の向上を図った。

2 業務量

区 分 \ 年 度 別	令和元年度 下 半 期	令和元年度 上 半 期	増 減	令和元年度末 現 在
給水区域内人口（A）（人）	98,682	99,951	△ 1,269	98,682
現在給水戸数（戸）	47,742	48,061	△ 319	47,742
現在給水人口（B）（人）	97,064	98,230	△ 1,166	97,064
普及率 $\frac{(B)}{(A)} \times 100(\%)$	98.36	98.28	0.08	98.36
年間総配水量（ m^3 ）	6,438,090	6,427,565	10,525	12,865,655
年間有収水量（ m^3 ）	5,193,041	5,251,471	△ 58,430	10,444,512
有収率（％）	80.66	81.70	△ 1.04	81.18

※ 普及率及び有収率の増減の単位はポイントである。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現行予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
収 入	水道事業収益	1,785,092,000	926,998,373	877,173,811	1,804,172,184	19,080,184
	営 業 収 益	1,699,473,000	856,511,397	859,558,213	1,716,069,610	16,596,610
	営業外収益	85,609,000	70,201,079	17,615,598	87,816,677	2,207,677
	特 別 利 益	10,000	285,897	0	285,897	275,897
支 出	区 分	現行予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支 出	水道事業費用	1,580,476,000	962,547,148	506,108,330	1,468,655,478	111,820,522
	営 業 費 用	1,444,736,000	879,151,842	480,444,319	1,359,596,161	85,139,839
	営業外費用	120,630,000	83,395,306	25,664,011	109,059,317	11,570,683
	特 別 損 失	110,000	0	0	0	110,000
	予 備 費	15,000,000	0	0	0	15,000,000

(2) 資本的収入及び支出

(単位:円)

収 入	区 分	現行予算額	執行額		決算額	予算に対し 増 減 額
			下半期	上半期		
収 入	資 本 的 収 入	31,234,000	16,379,373	17,490,456	33,869,829	2,635,829
	負 担 金	20,900,000	5,635,914	17,490,456	23,126,370	2,226,370
	補 助 金	326,000	646,000	0	646,000	320,000
	固 定 資 産 売 却 代 金	10,000	99,103	0	99,103	89,103
	出 資 金	9,998,000	9,998,356	0	9,998,356	356
支 出	区 分	現行予算額	執行額		決算額	不用額
			下半期	上半期		
支 出	資 本 的 支 出	681,667,000	286,290,902	341,037,978	627,328,880	54,338,120
	建設改良費	514,117,000	202,025,623	257,753,504	459,779,127	54,337,873
	企 業 債 償 還 金	167,550,000	84,265,279	83,284,474	167,549,753	247

4 企業債の状況

(単位:円)

前年度末残高	本年度借入額	下半期償還高	上半期償還高	本年度末残高
2,548,710,273	0	84,265,279	83,284,474	2,381,160,520

5 令和元年度鹿屋市水道事業貸借対照表の状況 (消費税抜)

(令和2年3月31日)

資 産 の 部

(単位：円)

1 固 定 資 産

(1)有 形 固 定 資 産

イ 土 地	627,094,307	
減損損失累計額	<u>△ 14,543,133</u>	612,551,174
ロ 建 物	1,332,448,559	
減価償却累計額	<u>△ 459,771,819</u>	
減損損失累計額	<u>△ 5,610,265</u>	867,066,475
ハ 構 築 物	22,439,843,383	
減価償却累計額	<u>△ 11,685,504,892</u>	
減損損失累計額	<u>△ 29,587,575</u>	10,724,750,916
ニ 機 械 及 び 装 置	2,227,509,443	
減価償却累計額	<u>△ 1,577,502,255</u>	
減損損失累計額	<u>△ 9,997,525</u>	640,009,663
ホ 車 両 運 搬 具	43,487,978	
減価償却累計額	<u>△ 36,591,545</u>	6,896,433
ヘ 工 具 器 具 及 び 備 品	101,410,838	
減価償却累計額	<u>△ 64,077,325</u>	37,333,513
チ 建 設 仮 勘 定		<u>30,825,490</u>
有形固定資産合計		12,919,433,664

(2)無 形 固 定 資 産

イ 電 話 加 入 権	723,751	
ロ 施 設 利 用 権	<u>165,228</u>	
無形固定資産合計		888,979

(3)投資その他の資産

イ 投 資 有 価 証 券	<u>100,000</u>	
投資その他の資産合計		<u>100,000</u>

固 定 資 産 合 計

12,920,422,643

2 流 動 資 産

(1)現 金 預 金		2,848,221,709
(2)未 収 金	319,531,847	
未収金貸倒引当金	<u>△ 5,053,546</u>	314,478,301
(4)貯 蔵 品		9,287,660
(8)そ の 他 流 動 資 産		<u>1,200,000</u>
流動資産合計		3,173,187,670
資 産 合 計		<u><u>16,093,610,313</u></u>

負 債 の 部

(単位：円)

3	固 定 負 債			
(1)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	2,209,632,783		
(4)	引 当 金			
イ	退職給付引当金	310,325,000		
	固 定 負 債 合 計			2,519,957,783
4	流 動 負 債			
(2)	企 業 債			
イ	建設改良費財源に充てる た め の 企 業 債	171,527,737		
(5)	未 払 金	34,448,773		
(8)	引 当 金			
ロ	賞与引当金	18,297,351		
ハ	法定福利費引当金	3,771,010		
	引 当 金 合 計		22,068,361	
(10)	その他流動負債	4,759,286		
	流 動 負 債 合 計			232,804,157
5	繰 延 収 益			
(1)	長 期 前 受 金	1,882,313,034		
(2)	長期前受金収益化累計額	△ 1,303,185,604		
	繰 延 収 益 合 計			579,127,430
	負 債 合 計			3,331,889,370

資 本 の 部

6	資 本 金			11,876,489,814
7	剰 余 金			
(1)	資 本 剰 余 金			
イ	受贈財産評価額	71,601,523		
ハ	工 事 負 担 金	99,108,231		
ニ	補 助 金	6,999,834		
	資本剰余金合計		177,709,588	
(2)	利 益 剰 余 金			
ロ	建設改良積立金			
ハ	当年度未処分利益剰余金	707,521,541		
	利益剰余金合計		707,521,541	
	剰 余 金 合 計			885,231,129
	資 本 合 計			12,761,720,943
	負 債 資 本 合 計			16,093,610,313

6 令和2年度鹿屋市水道事業当初予算の概要

(1) 経営方針

本市の水道事業を取り巻く環境は、人口減少等により水道料金の増収が見込まれないことや、施設面においても多額の更新費用が見込まれており、経営基盤の強化が課題となっている。

このような認識のもと、将来にわたって安全で良質な水の安定的な供給を持続していくために、本年度は「鹿屋市水道事業ビジョン（経営戦略）」の2年目であることからビジョンで掲げる基本目標である「持続・安全・強靱」に基づいた事業を推進し、将来を見据えた施策事業の構築に努めます。

(2) 業務の予定量

① 給水戸数	47,600 戸
② 年間総配水量	12,931,704 m ³
③ 1日平均配水量	35,429 m ³
④ 主要な建設改良事業 イ 送配水設備ほか改良事業	535,455 千円

(3) 主な重点施策

① 施設規模適正化計画策定事業

鹿屋市水道事業ビジョンを踏まえた中長期的な上水道施設規模の適正化等の策定に取り組む。

② 鹿屋市水道事業包括業務委託

鹿屋市水道事業ビジョンに基づき、事務の効率化、経営の合理化の観点から料金収納関連の更なる民間委託を実施し、安定的な事業運営を図る。

③ 水道施設拡張事業

生栗須地区と古江地区のボーリング調査を実施し、新規水源の確保を行う。

④ 漏水調査

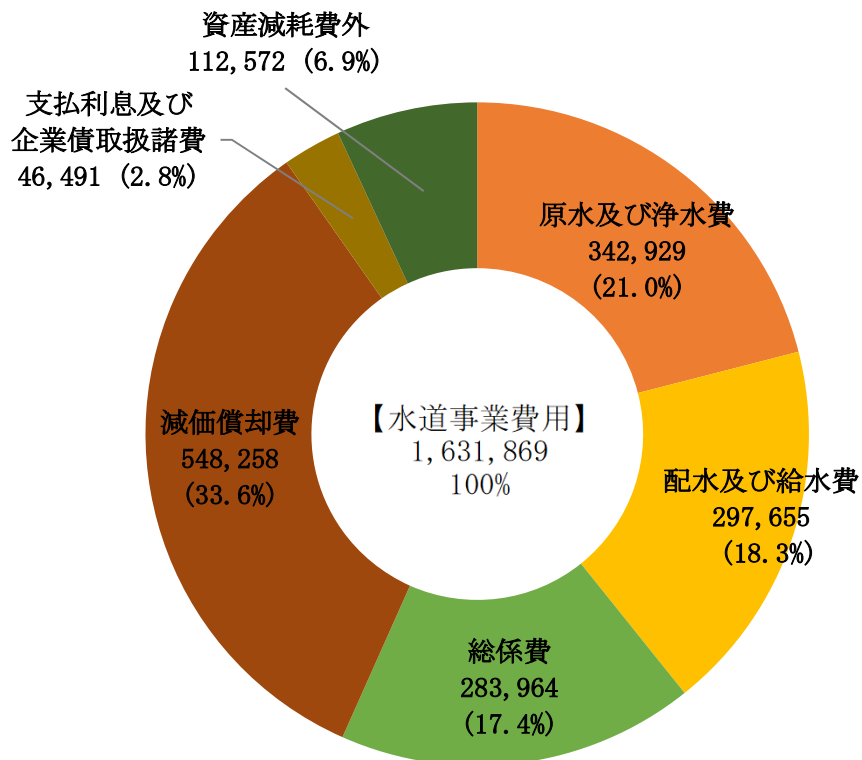
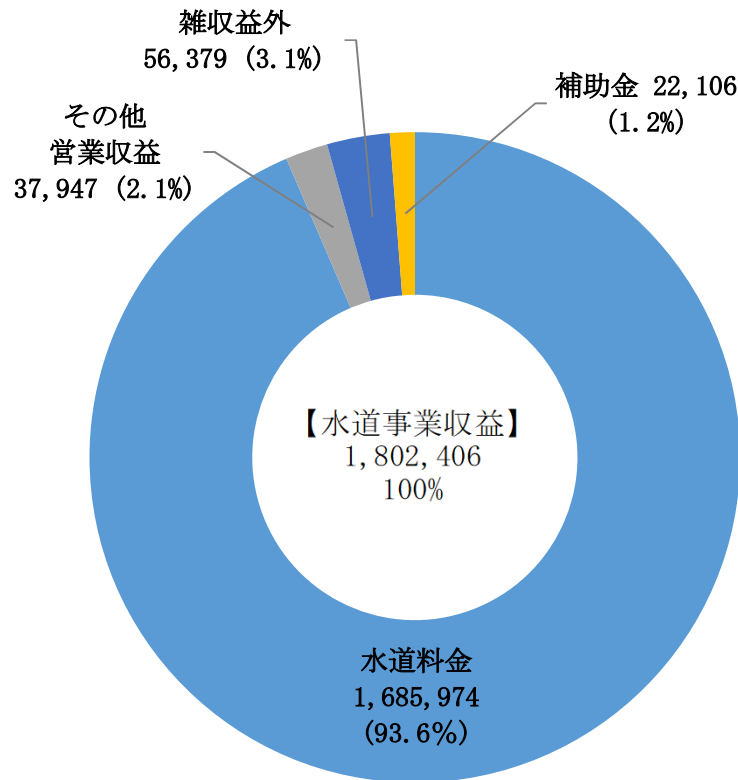
計画的な地区別漏水調査を実施し、有収率向上を図る。

⑤ 管路整備事業

老朽管対策として、耐用年数を超過した管及び漏水が多発する管について、優先的に布設替（単独工事）等を実施する。

(4) 収益的収入及び支出

(単位：千円)



(5) 資本的收入及び支出

(単位：千円)

